

耳公民館だより



第73号 令和7年9月



(収穫を迎えた田んぼ:佐野)

猛暑と水不足の夏を乗り切ってくれた稲の刈り取りが始まりました。他県のニュースでは田んぼがひび割れて根が切れてしまったり、大雨で流されたり泥に埋まったりと大変な状況でした。

耳地区では、この写真のように刈り取り順の差によるしま模様を今年も見ることができました。

農業者や用水確保にあたられた皆様のご苦勞に感謝し、まもなく美味しいお米をいただきます。

早朝4時からの チャレンジ企画!

第2回星空観察会 8/19(火) 8名



「誰か来るかなあ」と企画しておきながら少々不安に。

ところが開始時刻には人影がぼつぼつと。

前回(午後8時ごろ)よりも星座がくっきりと見えました。

もちろん明けの明星も。



宇宙の写真展

今年も耳地区出身の星空愛好家の方が趣味で撮影された写真を4点送っていただきました。彗星や銀河などの美しい姿をどうぞ。



池田義治さん(麻生) 折り紙作品展Ⅱ

今回は鳥、虫、恐竜など約50点です。どうやって折ってあるのでしょうか。

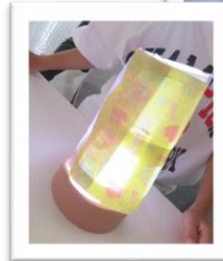


立ち寄り型講座「ふらっと」ニュース

「ミニあんどん」： 8/27(水) 11名



夏休みの終わり直前、8名の小学生と3名の大人の方が、ミニあんどん作りに挑戦しました。使用済みの写真用紙で骨組みを作り色々なデザイン折り紙を貼って完成。明かりをつけてみると…



崎元光男さん(河原市)作品展 「1本の鉛筆から」Ⅱ

黒鉛筆1本の濃淡を巧みに使い分けて表現する崎元さんの作品展第2回。今回は11点をお借りして展示しています。いやされるやさしい絵、鋭い視線が迫ってくる絵のほか、個性的な抽象画もあります。ぜひご覧ください。



館長のつぶやき

重ねる

ものづくりでは、紙を重ねたり色を重ねたりして自分がめざす作品の姿に近づけていくことがよくあります。今回の折り紙も、ミニあんどんも、黒色を重ねる鉛筆画も、それぞれに作者の熱意も重ねられています。

先日、我が家のリフォームをお願いしている瓦職人さんと立ち話をしていました。毎日着々と進んでいく作業を見ると、屋根瓦の下にはいくつもの工夫がしてあることがよくわかったので、

「いろいろ丁寧な仕事をしていただいて。」とお礼を言うと、「できあがると普通の屋根なんやけどな。」と返事が。

確かに完成すると整然と瓦が乗っている外観ですが、古い瓦をはがした跡の土ぼこりを落とし、下地のいたみを確認し、今の技術である遮熱シートを敷いて、瓦を一枚一枚はつていきます。日本古来の職人技と新たな技術が重なっているわけです。

猛暑で日陰もない過酷な環境下の仕事のおかげで、住人の私たちは雨をしのぎ暑さ寒さから身を守れます。普通のことのように見えても、そこまで幾重にも重ねられた積み上げがあるというのは世の中にたくさんあります。

耳公民館の年間千人を超える利用実績も、サークルや講座への参加はもとより、展示を見に来てくださる一人一人の積み上げのおかげです。重ね重ねお礼を申し上げます。

折り紙サークル
さんの作品

